



香川 豊宏 准教授を講師にお招きして開催

長崎県歯つてん会総会、学術講演会、懇親会報告

長崎県歯つてん会 学術担当理事 稲澤 太志(21期生)

平成28年5月7日、ホテルJALシティ長崎にて、長崎県歯つてん会総会、学術講演会、懇親会が開催されました。

総会のあと「一般歯科診療におけるX線画像診断と読影」と題し、福岡歯科大学診断・全身管理理学講座画像診断学分野 香川 豊宏准教授に講演していただきました。香川先生は、福岡歯科大学を卒業後、助手、助教、講師を経て、平成27年11月に准教授になられ、若手の有望株であり、歯つてん会会長 小川豊久先生、同窓会会長 宮口厳先生のたつての希望により、学術の講演を快諾していただき深謝いたします。講演内容では、線量や被爆量について、パノラマ、CT所見の事細かな読影、また歯科医師国家試験問題等、興味深く、香川先生特有の優しい口調とユーモアもあり、学生に戻ったような感覚で受講させていただきました。私事ですが、登院実習生の時、すでに助手をされていた香川先生には、短い実習期間ではありましたが大変お世話になり、実習班での食事会や、ハンコほしさのレポート提出など、変わらない



容姿と、愛着のある笑顔を拝見でき、当時の記憶が少しずつよみがえり、楽しい時間をすごさせていただきました。学術講演会には、約40名会員の参加があり、懇親会では、同窓会より持山達郎専務、長崎県九州歯科大学同窓会、長崎大学同窓会の先生方を含め、約50名集まり先輩、後輩の垣根を超え、大学時代の武勇伝や、思い出等を談笑し、さらには長崎らしく異国情緒あふれる外国の女性も参加し長崎弁を筆頭にいろいろな言語が飛び交い、楽しい懇親会が2次会、3次会と続きました。開催日程が連休の最後と重なりましたが、たくさんの方が集まり有意義な時間がすごせました。簡単ではありますが、ご報告とさせていただきます。



母校の支援に感謝します。 「口腔ケアで震災後の誤嚥性肺炎を0に」

熊本県歯科医師会副会長 宮坂 圭太(1期生)

2度の大きな地震が起きるといって、未曾有の災害をうけ、避難所に歯科支援物資を届けることから始まった。震災3日後、宮口同窓会長より「何か役に立つことがあれば」と電話が入った。物資よりも支援金をお願いした。4月20日には福岡学園と同窓会より全国に先駆け支援金振り込まれた。また人的支援にも対応していただいた。水田理事長と宮口同窓会長の素早い決断に感謝しつつ、現場は大混乱だった。震災一週間後から我々も組織的な支援に動き出した。最も被害が大きかった益城町の体育館避難所は足の踏み場もなく、車中避難者も多く、歯科治療や口腔ケアも困難を極めた。公民館など孤立した避難所へも通行止めの道を迂回し向かった。歯科医院の復旧が早かった地区は、学校開始で日常を取り戻すと、避難所の口腔衛生活動のみになった。橋とトンネルが崩落した南阿蘇村では、歯科医院のダメージは少なく、避難所へのアプローチもうまくいった。住宅の全半壊が多い西原村は、仮設住宅の建設が進んでいる。熊本市中心部も熊本城のようにダメージを受けている建物がある。避難者がいる限り寄り添っていくことが必要である。今後は被災地区や仮設住宅住民への継続的な健康管理が続く予定である。しかし被災県歯会員の対策や支援物資の整理、まだまだ問題は山積みである。

「全国の支援に感謝します、日本でもよかったです。」被災者の方が口を揃えて言われます。改めて母校と同窓会の支援に感謝します。



娘(36期生)と一緒に支援活動



避難所での歯科保健活動

クリニックからこんにちは!



「開院にあたり」

山地 将太 (26期生)

皆さまこんにちは。26期卒業の山地将太です。気づけば卒業して13年。色々な方に支えられ3年前に地元である北九州市小倉北区で2年間勤務していた医院を継承し開業いたしました。現在スタッフは衛生士1人・助手1人・受付1人と私の計4人で日々の診療を行っております。

開業するにあたり、2つ心掛けた事があります。1つ目は、時間を守ること。これは、患者さんの為の時間とスタッフの為の時間です。患者さんとのアポイントの時間を守ることは当然ですが、仕事の終了時間を明確にすることで、自分やスタッフの診療後の時間を確保し、そうすることで診療中の集中力が増すと考えています。2つ目は、色々な方の話をきくことです。これは単純に研

究することです。



修会に参加するだけでなく、歯科医師会の仕事や先輩方や同級生との飲み会に参加することも含め様々なところに顔を出すということ。色々な方と話し意見をきくことで様々な知識や考え方が得られます。これからも、最低限この2つを守り、少しでも地域医療に貢献できるように日々研鑽を積み歯科医業と向き合っていくと思えます。また最後になりましたが、皆様のお祈り申し上げます。

卒業生 NOW

「繋がり」

王丸 俊彦 (18期生)

皆様、こんにちは。18期卒の王丸俊彦と申します。

早いもので、気が付くと卒業して20年の月日が経っていました。「今回は何もしないの?」という友人の一言から、数名の同期生で同窓会を企画・開催することになりました。卒業10年目の時は、往復ハガキ・電話などの手段で、同期生やお世話になった先生方に連絡をとり、西鉄ソラリアホテル様のご協力を得てキッチンとした同窓会を行いました。当日は台風という最悪の天候でしたが、それなりの人数が集まってくれた事を覚えています。今回はあまり時間がなかったので、SNSという手段で連絡がとれる同期生だけに声を掛けるというちょっと手抜きのプチ同窓会となりました。残念なことに、直前に熊本地震が起きてしまい出席辞退者が多数出てしまいましたが、それでも50名弱の同期生が集まってくれました。懐かしい顔が集まれば、20年経っていてもすぐに昔に戻って楽しい時間を過ごすことが出来ました。

時代と共に手段は変わっていきますが、誰かと繋がっていれば、そこからいろんな人へと広がっていく横の関係は大切だと思えました。また、大学の同窓会などを通じての縦の関係もあり、もっと色々な方々と知り合っていく機会が得られると思います。これから先も、この『繋がり』を大切にして仲間と集まっていけたらと思います。

最後に、被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

